

大崎市「建設現場における現場研修」への参加協力について(9/12)



高校生高所作業車へ搭乗 橋梁点検手法を体験

大崎市が宮城県古川工業高校生を対象に「建設現場における現場研修」を、令和7年9月10日から3日間開催しました。建設センターでは、9月12日に橋梁点検業務の体験学習を担当しました。

体験学習では、大崎市内の「福沼2号線歩道橋」において、センター職員とともに高所作業車へ搭乗し、桁の塗装のはがれ、

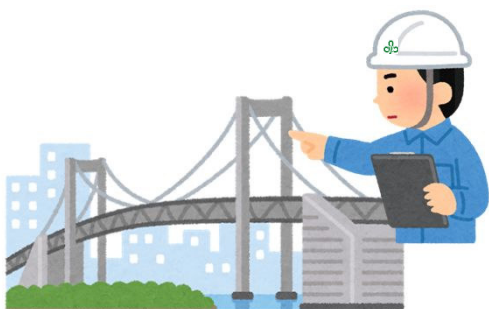
腐食状態、コンクリートのひび割れ等について点検のポイントや作業の仕方を体験しました。

社会インフラの維持管理を学ぶ

計画調査課では、市町村からの依頼を受け、橋梁定期点検・橋梁長寿命化修繕計画策定の業務を行っています。高度経済成長期に多く建設された橋梁は、現在老朽化という問題を抱えています。5年に一度点検を行い、補修をしていくことで適切な維持管理・長寿命化につながっていきます。

本体験学習では、橋梁点検を通じて、道路・鉄道等を含めた社会インフラの維持管理の重要性・必要性を学ぶことを目的としています。当センターでは、このような体験を通して橋梁の維持管理や長寿命化、さらには土木関係の仕事に関心を持ってもらうことを目的としており、今後も学生等を対象とした体験学習を行っていく予定としています。

大崎市建設課及び古川工業高校担当教師、生徒の皆様ご協力ありがとうございました。



公益社団法人宮城県建設センター

<http://www.m-ctc.com/>

■問い合わせ先



担当部署：計画管理部 計画調査課

電話：022-217-7631